

資料2 女性消防吏員の比率に関する数値目標

前提となる考え方

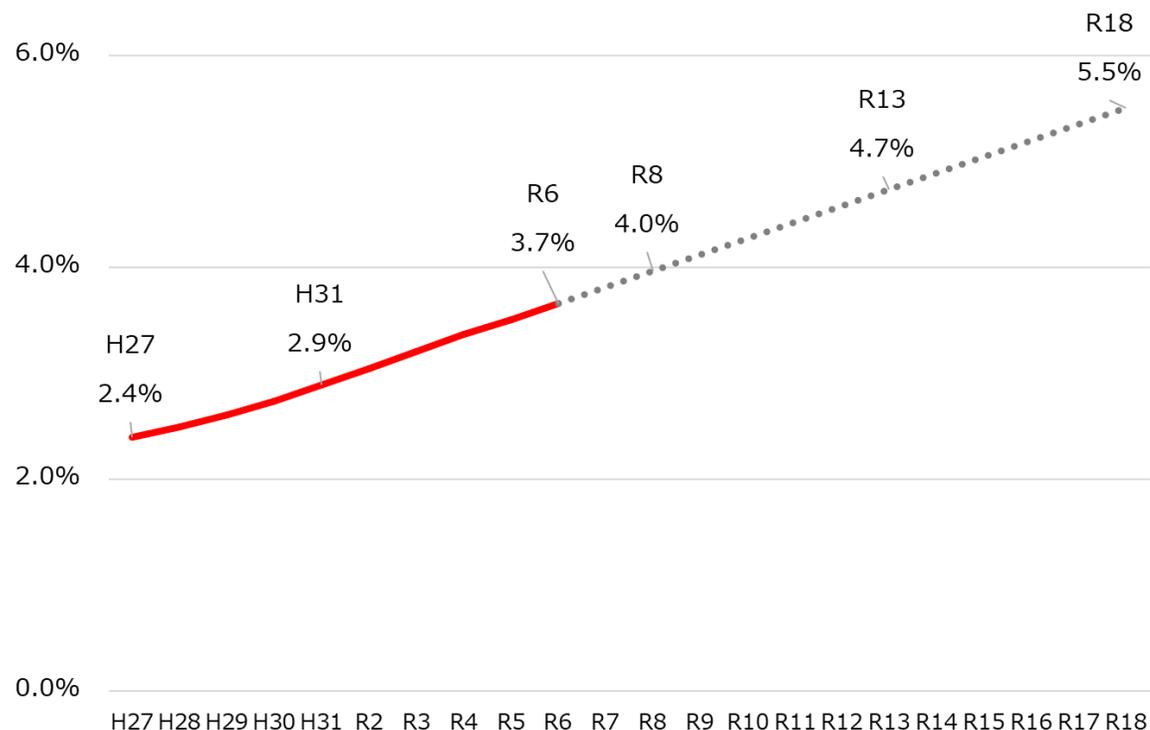
- ・ 住民サービスの向上や消防組織の強化を図るためには、女性消防吏員の活躍推進及び計画的な増員（女性比率の増加）が必要不可欠である。
- ・ 各消防本部においては、組織の規模や使用している装備・資機材、管内の地域特性等は様々であり、採用試験についても各市町村等で実施している状況である。
- ・ 定年引上げの影響や採用市場、女性専用施設の整備等の状況も考慮する必要がある。

以上の点を踏まえると、

- 全国統一の数値目標を設定するのではなく、消防庁が目安となる目標を掲げつつ、各消防本部が実状を踏まえた自律的な数値目標を設定することで、無理のない計画的な増員が可能となる。
- 目標を設定するだけでなく、目標に向けた取組やその達成状況等を踏まえ、各消防本部において検証し、必要に応じて見直しを図ることも必要である。

女性消防吏員比率の推移（予測値）

	女性吏員 比率	女性吏員 増加率
H27	2.4%	
H28	2.5%	0.10%
H29	2.6%	0.11%
H30	2.7%	0.13%
H31	2.9%	0.15%
R2	3.0%	0.15%
R3	3.2%	0.16%
R4	3.4%	0.16%
R5	3.5%	0.14%
R6	3.7%	0.15%
R7	3.8%	0.15%
R8	4.0%	0.15%
R9	4.1%	0.15%
R10	4.3%	0.15%
R11	4.4%	0.15%
R12	4.6%	0.15%
R13	4.7%	0.15%
R14	4.9%	0.15%
R15	5.0%	0.15%
R16	5.2%	0.15%
R17	5.4%	0.15%
R18	5.5%	0.15%



* 各年4月1日現在の数値

* R7以降の数値は、5か年（H31～R6）の平均増加率（0.15%）を積算して算出